

〈ケア〉を考える会 (第123回)



〈ケア〉を考える会 (第123回)

■日時：2019年3月24日(日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安楽中環道3-2
山科駅より徒歩3~4分の民家
(山科駅) (安楽西側 東側)

■内容

(1) 発表と対話

「共依存」事例から考える

～参加者が持ち寄る事例で対話する～

コメンテーター：小西 真理子 さん (大阪大学(臨床哲学)講師)

(2) 懇親会…食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

★会費：懇親会参加者のみ1000円。★どなたでも参加できます(お参加歓迎)。先着20名程度。
★問い合わせ先：林まで；michi-care@outback.jp 090-5366-1497



▼共依存関係…「人を自分に頼らせることで相手をコントロールしようとする人と、人に頼ることでその人をコントロールしようとする人との間に成立するような依存・被依存の複雑な二重関係(精神医学の「共依存」現象を紹介)」
▼共依存者は…「あなたのために」「あなたのことか心配だ」といって、他者を「愛情」と正論で諭かに支配。それは他者のことを想うかゆい行儀のように見えるが、実は、それは自分の欲求を他者の人生を借りて満たそうとする自己中心

▼竹内俊一さんより「共依存」事例が提出されました。当人の生き辛さ、支援する人の困難さ、など、事例の抱える重さに圧倒されました。私たちはその状況をどう捉えるのか、どうしたらいいのか、希望は見えるのか、など、深い話し合いが続きました。

▼後の懇親会では、山添夫妻による美味しい料理に舌鼓を打ちつつ、話に花が咲きました。左写真のお酒はほとんど空になりました。